




小平市障がい者地域自立生活支援センターひびき主催

小平市地域自立支援協議会 共催

障がい者福祉講演会のご案内


「医療的ケア児の生活を向上させる地域の生活支援を考える」

～ 医療的ケアを必要とする児童とその家族が適切な支援を受けられるように、地域の連携の場を考える ～



と き 平成30年9月25日（火）午後6時00分～8時00分

と ころ 小平市健康福祉事務センター 2階 3・4会議室
(小平市小川町2-1333)




講 師 下 川 和 洋 (しもかわ かずひろ) さん
女子栄養大学大学院・白梅学園大学 非常勤講師
特定非営利活動法人地域ケアサポート研究所 理事

定 員 40名 (先着順)

申 込 み 9月20日（木）までに、問合せ先へ
※所属、氏名、連絡先を添えてお申し込みください。

問 合 せ 小平市障がい者地域自立生活支援センターひびき
☎042-341-6555 Fax042-402-0251
e-mail : hibiki@syakaifukushi.kodaira.tokyo.jp



『医療的ケア児支援のための関係機関
の協議の場』とは何でしょうか？

在宅で痰の吸引、経管栄養、酸素吸入など、医療的ケアを受けて生活している子ども達がいます。
子どもと家族の支え手となり、適切な支援が受けられるよう関係機関の連携が欠かせません。
保健所、訪問医、訪問看護師といった保健医療関係者、保育園、学校、障害福祉サービス事業所、医療機器の企業などが連携し、協議できる場が、今求められています。

【第五期小平市障害福祉計画・第一期小平市障害児福祉計画】

55 ページより抜粋

③ 医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置

【国の基本指針の主旨】

- ・医療的ケアを必要とする児童が適切な支援を受けられるように、平成30（2018）年度末までに各市町村において、保健・医療・障がい福祉・保育・教育等の関係機関等が連携を図るための協議の場を設けることを基本とする。

市の現状、考え方と成果目標

医療的ケアを必要とする児童が適切な支援を受けられるように、平成30（2018）年度末までに、保健・医療・障がい福祉・保育・教育等の関係機関等が連携を図るための協議の場を設置することをめざします。

講演会参加申込書 ひびき宛 FAX 042-402-0251 このまま送ってください。

参加者氏名	所属	電話連絡先